



「桜川 学びのエリア」(桜川小・桜川中)

桜川中だより

令和8年6月30日

板橋区立桜川中学校
学校だより第3号

全学年で平和学習の取り組み

校長 前田 康夫

桜川中学校では令和8年度から、道徳の時間に外部講師の方をお招きし、全学年で平和学習を3～5時間ほど行なっております。今年の3月に卒業した生徒たちが3年間平和学習に取り組んだことが、主体的な考えや取り組みにも好影響与えていたと感じています。戦争の悲惨さや広島・長崎の被爆など二度と繰り返してはいけない歴史の事実を基に「私たち自身を含め、皆が平和に過ごしていけるようにするためには、これからどうすればよいのか」を考える機会にしていきたいと思います。それは普段の生活でも、誰かが傷ついたり悲しい思いをすることがないようにする人権尊重の考えや、当たり前の日常に関わる多くの人や家族に「感謝の思い」をもてるようになってほしいという願いでもあります。平和学習をきっかけに探究的な学びへと発展させ、自らの思いや考えを強くもって主体的な行動につなげていくことを期待しています。「自分にとって平和とは何か」そこから始まっていければと思います。



7年富士見高原移動教室で農村体験をしました

毎年7年生は富士見高原移動教室を実施していますが、今年度は初めての試みとして農村体験を行いました。長野県茅野市の地元農家の方々には5～6人の少人数で生徒を受け入れていただき、それぞれの農園で農作業を体験する内容です。班によって活動は様々でした。田んぼに裸足で入り、どろんこになりながら雑草取りをしたり、野菜を収穫したり、ひたすら薪割りをしたりと班によって活動は様々でした。実際に農作業の大変さを経験することで、生徒たちは多くのことを感じ取ったようです。「これからお米をもっと大切に味わって食べたい」「作業するときに腰が痛かった」「どろだらけになった」など様々な声が上がりました。また、農家さんによっては新鮮な野菜を振る舞ってくださり、「ものすごくおいしかったです！」との感想もありました。農業に関しては従事者の高齢化や天候による影響など様々な課題があります。環境問題も含めて、自分が体験したことがこれからの探究的な学びにつながることを期待しています。7年生が運動会や移動教室などの行事を通じて、大きく学び、成長している姿を頼もしく感じました。



桜川中の隣にある施設は？ユーカリ栽培について学びました

8年生が学校の隣にあるユーカリを栽培施設を訪問し、見学をさせていただきました。生徒・保護者、地域の方を含めて「ずっと気になっていましたが・・・」と「あそこは何の場所なのだろう」と疑問を感じていた方も多かったようです。一般にはあまり知られていないようですが、実は動物園と連携してコアラのためのえさを栽培する大切な施設でした。今回、学校からの依頼で動物園の方に講師としてご講演いただきました。コアラの飼育の大変さや日本には自生していないユーカリを何種類も栽培するご苦労をお話いただき、その後、実際に施設内を見学させていただくことができました。



70周年記念誌の写真を撮りました

創立70周年記念誌の写真を撮影しました。校庭で全校写真を撮影し、体育館ではクラス写真を撮影しています。10月31日の記念式典に向けて準備を進めていきたいと思います。

